学校番号	403

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「文学国語」　（筑摩書房）						
副教材等	新演習　現代文アチーブ３　四訂版（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主体的に学び、深める態度を求めます。
・様々な作品を通して、読む・書く・調べる・考える・まとめる・表現する等の活動を通じて、よりよく生きる力と意欲を養う時間にしていきましょう。
・新出漢字や意味のわからない語句は自ら調べて、理解を深めましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

(2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随想・評論(一) ［教材］ プラスチック膜を破って	a(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 (2) 我が国の言語文化に関する事項 「プラスチック膜を破って」を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]「プラスチック膜を破って」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c教材の内容に関心を持っている。／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	随想・評論(二) ［教材］ 情報の彫刻	a 読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 情報の彫刻」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	小説(一) ［教材］ 山月記	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b:[読]文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c:文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	書くこと ［教材］ 【実践 1】 構成と展開を工夫して、変身物語を書こう	a 小説など文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し自ら使っている。 b[書]変身物語を書く活動を通して、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	定期考査 ノート提出	発問評価 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート

		c言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。〈			
	小説（二） ［教材］ 神様	a：読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b：[読]文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
二学期	小説（三） ［教材］ こころ	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 「こころ」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「こころ」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b：[読]「こころ」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 カ 「こころ」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。〈	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	随想・評論（三） ［教材］ 金繕いの景色	a：「金繕いの景色」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	詩・短歌・俳句 ［教材］ サーカス	a：読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している b[書]：サーカス・永訣の朝」を参考に、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート

	詩・短歌・俳句 ［教材］ 永訣の朝	a情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴（詩歌）などについて理解を深めている。 b[書]：永訣の朝を参考に、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	随想・評論（四） ［教材］ 舞姫	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。[B(1)オ] 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	書く ［教材］ 詩歌から発想を広げ、小説を書こう	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 詩歌から発想を広げ小説を書く実践を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。 詩歌から発想を広げ小説を書く実践を通して、文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。 b[書]：文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 詩歌から発想を広げ小説を書く実践を通して、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c：語り手の視点を意識した上で、構成や展開、表現のしかたなどについて吟味しながら文章を書き、読み合うことを通じて語り手の重要性について理解を深めている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
	小説（四） ［教材］ 水仙	a：読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。 「水仙」の読解を通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート

	人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。			
小説(五) [教材] チャンピオンの定義	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「チャンピオンの定義」の読解を通して、文学的な文章やそれに関する文章の種類(随想・評論)や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 「チャンピオンの定義」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c:文体の特徴と効果を押さえ、作品を読み味わい、自身の日常や体験について考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート
書く [教材] 【実践4】 創作の背景について調べよう	a:「創作の背景について調べよう」という実践を通して、文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、自ら使っている。 b[書]:、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト ノート提出	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　３５　)時間

・読むこと　…　(　１０５　)時間